

令和6年度(2024年度) 教科研修(高校 理科) ~探究的な学習における指導と評価の充実~ 実施要項

1 目的

観察、実験を伴う実習による実体験や実社会での問題発見・解決につながる教科等横断的な学びを意識した講義・演習等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方や評価について理解を深め、実践的指導力の向上を図ります。

2 主催

北海道立教育研究所

3 期日

- (1) 令和6年(2024年)7月19日(金) 遠隔型研修Ⅰ
- (2) 令和6年(2024年)7月22日(月)～8月22日(木) オンデマンド型研修
- (3) 令和6年(2024年)8月29日(木)～8月30日(金) 集合型研修
- (4) 令和7年(2025年)1月27日(月) 遠隔型研修Ⅱ

4 実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、全4回の研修のうち、1回目と4回目の研修は遠隔型研修、2回目の研修はオンデマンド型研修、3回目の研修は集合型研修により実施します。

(2) 会場

- ア 遠隔型研修Ⅰ及びⅡ、オンデマンド型研修
各受講者の勤務校(勤務校にいながら受講することが可能です。)
- イ 集合型研修
酪農学園大学(江別市文京台緑町582番地)

5 参加対象

高等学校等の理科担当教諭(主幹教諭含む)

6 研修内容及び日程(職場実践(自己研修)を除く)

7/19(金) 遠隔型研修Ⅰ	7/22(月)～ オンデマンド型研修	8/29(木) 集合型研修	8/30(金) 集合型研修				1/27(月) 遠隔型研修Ⅱ
接続受付 [14:30~14:45] 接続最終確認 [14:45~15:00]	説明・講義 [約30分]	受付・移動 [8:50~9:20]	実習(科目別) [9:00~12:00]				接続受付 [13:00~13:15] 接続最終確認 [13:15~13:30]
オリエンテーション [15:00~15:10]	①理科教育の現状と課題 ②授業改善と評価の充実 ③実習のポイント	開講・オリエンテーション [9:20~9:30]	物理 の 観 察 ・ 実 験	化学 の 観 察 ・ 実 験	生物 の 観 察 ・ 実 験	地学 の 観 察 ・ 実 験	実践交流及び情報交換 [13:30~15:10]
説明・協議 [15:10~16:10] ①課題の明確化Ⅰ ②STEAM教育との関連性		講義・演習 [9:30~10:00] 課題の明確化Ⅱ					実践成果発表及び交流
		講義 [10:00~10:40] 「STEAM教育」 酪農学園大学准教授 金本 吉泰 氏 【酪農学園大学B4号館 化学 実験室AB、生物実験室AB】					協議 [15:20~15:35] 理科に関する先進的な 取組事例など
		実習(科目別) [10:50~12:00] 物理 化学 生物 地学 の の の の 観 観 観 観 察 察 察 察 ・ ・ ・ ・ 実 実 実 実 験 験 験 験 【酪農学園大学B4号館 化学 実験室AB、生物実験室AB】					研修の振り返り [15:35~16:10] 今後の取組の明確化
		昼食・休憩 (12:00~13:00)					
		実習(科目別) [13:00~16:40] (午前の続き)					
							研修の振り返り [15:10~16:00] 【酪農学園大学B4号館 化学 実験室AB、生物実験室AB】

7 講師

集合型研修

【講義】「STEAM教育」

酪農学園大学准教授 金本吉泰氏

8 その他

(1) 申込み時の留意事項

ア 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただきます。

そのため写真に顔等が映り込む場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

イ 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）を用意してください。

(2) 受講時の留意事項

ア 受講者としてふさわしい服装で受講してください。

イ 本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードしないでください。

ウ 接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。

エ 集合型研修では、白衣を持参してください。